

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

2 年 1 組		指導者	〇〇 〇〇	教科等	国語科
単元	単元名等	修学旅行を題材に随筆を書いて、読み合おう。			
	目標	評価規準	※どちらかを選択し、 で囲ってください。		
	知識及び技能	知識・技能	◆抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【（１）エ】		
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	○表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見い出している。 【B 書くこと（１）オ】		
	学びに向かう力 人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○既習の随筆教材で取り扱った抽象的な語彙や表現の工夫を参考に、自らの体験を踏まえて書こうとしている。		
	単元の学習展開（全 4 時間）				
	導入	□既習教材「あの夕暮れに帰る」・「字のない葉書」を参考に、語彙や表現について考える。 ・随筆について確認し、語彙の選び方や表現の工夫について交流する。			
	展開	□修学旅行を題材にした随筆を書く。 ・導入で決めた「修学旅行の印象に残った場面」での体験を基に文章を書く。 ・書いた文章の中から「こだわりの 1 文」をワークシートに抜き出し、その意図をまとめる。			
	終末	□書いた随筆を友だちと交流する。 ・随筆を読み合い、「こだわりの 1 文」と「光る 1 文」を交流する。必要があれば修正を加える。 ・実生活の「書くこと」にどう生かしていきたいかをまとめ、全体で交流する。			

本時 （3 / 全 4 時間）	ねらい	抽象的な概念を表す言葉や表現技法について、第 1 時における既習教材の使用の実際や、友だちとの選び方・工夫の交流を振り返りながら、随筆での活用を吟味することを通して、実際に使いながら語感を磨き、語彙を豊かにしている。 (下線部…単元の評価規準との関連【◆知・技 ワークシートの記述】)			
	学習過程	「めあて」 「自分の随筆の語句や表現を見直し、より効果的な表現にブラッシュアップしよう」 ※本時は『課題』の設定をしていない 「振り返り」の視点 ・自分が選んだ「こだわりの 1 文」について ①どのような工夫をしたか ②どのような効果を期待しているか			
	児童生徒に要する状況の手立て	【予想されるつまずき】		【必要な支援・手立て】	
		・どんな語句や表現を、どのように変えればいいのか見当がつかない。 ・読み手を意識して語句や表現を選ぶことができていない。		・随筆教材や既習の語句や表現で印象に残っているものなどを振り返らせる。 ・表現技法やオノマトペ、具体や抽象の持つ効果と自分の伝えたいイメージを確認させる。 ・読み手の受け取り方と自分が期待している効果にギャップがないかを確認させる。	